

土下座まつりは 三百年以上の歴史をもつ行列でござ候
しからば 次のしきたりをお守りくださるようお願い申し上げ候

土下座まつり拝観心得

- 一座して行列を静かにお迎えする事
- 一 写真を撮る際も起立してはならぬ事
- 一 行列の前や途中を横切らぬ事
- 一 行列が通過する間は場所を動かぬ事
- 一 郷士監察(紋付き羽織袴姿で行列の外を
歩く役の人)の指示に従う事
- 以上の事を守らねば行列は進まなくなる事
を承知おく事



新見は、元禄十年(西暦1697年)一万八千石の格式をもって津山から移封された初代藩主関長治侯が築いたまちです。

この土下座祭りは、正式には「御神幸武器行列」といい、藩主が祭礼に参内して、敬神崇祖の高揚と領民の安寧、五穀豊穡を祈念するために、市内六軒町、野田、千丸、龍頭、上風木、宮地町、文化町、お茶屋町、小川、桑原の地域に住む人々に、新地入国時に行った大名行列を仕立てさせ、新見船川八幡宮秋季大祭(十月十五日)御神幸の先駆をさせたのが始まりで、往時のしきたりを忠実に継承しています。

総勢六十四名からなる行列は、白熊(はぐま)と呼ばれる大槍、薙刀(なぎなた)、鉄砲、弓、槍、大旗(おおはた)、馬印(うまじるし)、沓籠(くつかご)などが主体で、青竹を手にした二人の先払いを先頭に、一定の順路で新見船川八幡宮と宮地町の御旅所を往復します。

行列が通る沿道の氏子は、清めの砂を盛り腰を低くして敬けんに出迎える習わしとなっています。

担当地区民や大名行列保存会の伝統継承への熱意と、氏子をはじめ市民みなさんの理解と協力により、心と心で描く格調高い歴史絵巻です。

土下座まつり

期日 平成30年 10月14日(日)…………… 宵宮祭・湯立て神事
15日(月)…………… 本殿祭・御神幸武器行列

会場 船川八幡宮及び御殿町周辺

10月14日(日) 船川八幡宮・宵宮祭・湯立て神事…………… 19:00～

10月15日(月)

船川八幡宮
●本殿祭祭典…………… 10:00～
●御神幸武器行列(船川八幡宮⇄御旅所間 約1.5km往復)…………… 13:30～ 鳥居前出発
〈行列順序〉前駆(大名行列) — 神輿 — 後駆(子供仮装行列)

御殿町センター
●「特設ゆめ市場」特産品・お弁当販売
(新見商工会議所青年部、新見市観光協会)…………… 11:00～16:00
●無料休憩所&オープンカフェ(新見商工会議所女性会)…………… 10:00～15:00

太池邸
●無料休憩所&カフェ(写真で新見を繋げる会)…………… 10:00～15:00
土下座まつりミニ写真展「昨年の風景」
特産品販売

新町
●特産品・お弁当販売・無料休憩所(新見おかみさん会)…………… 10:00～15:00
「ばら寿司」、「物産品販売」など

協賛 「新見土下座まつりポスター展」〈入場無料〉(にいみプラザ2F休憩所)〔9/20～10/15〕10:00～20:00

巡回無料バス 新見駅発10:30から30分間隔で(最終便16:00発)
新見駅→江道橋→思誠小学校前→新見高校前→新見市役所→金谷上→新見美術館→新見駅

まち歩きガイドの会 巡回バス①・②にガイドが同乗し、希望者をご案内いたします。

タクシーのご案内 クラタク…………… ☎(0867)72-2114(新見市新見)
新見交通…………… ☎(0867)72-0258(新見市高尾)
ミムラタクシー ☎(0867)72-2223(新見市正田)

総合案内所 御殿町センター前(10:00～16:00) お気軽にお立ち寄りください。

お問い合わせ 新見市商工観光課…………… TEL(0867)72-6136
新見市観光協会…………… TEL(0867)88-8154
新見商工会議所…………… TEL(0867)72-2139
※天候によっては中止になる行事もありますのでお問い合わせ下さい。